

日本ホメオパシー医学協会主催 設立20周年記念の学術大会は明年1月13、14日に

ZENホメオパシーの 治癒症例を詳しく

一般公開で「美」に焦点

日本ホメオパシー医学協会はこのほど由井寅子会長のもとに各国から学術発表の要請があり、10月下旬からドイツ、ルーマニア、オランダ、英国の学会で「ZENホメオパシー」の症例を学術発表することを明らかにした。また、例年、行われている日本医学協会(JPHMA)設立20周年記念の学術大会は明年1月13日(土)、14日(日)の2日間、東京・世田谷区民会館において開催すると発表した。

ZEN、英国の学会で、「ZENホメオパシー」の症例を学術発表する。現代

の心と体の難病に対して大きな成果を上げている由井会長のホメオパシーは「ZENホメオパシー」として世界の方が注目しているようだ。日本でも由井寅子会長が提唱するZENホメオパシーの症例を発表する日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)設立20周年記念の学術大会が2018年1月13日(土)、14日(日)の2日間、東京・世田谷区民会館において開催される。この大会は、多くの方にホメオパシー医学の心と体の様々な不調や病気についてホメオパシーでのような治癒症例があるかを知りたいという方から、11月5日、函南で秋の収穫祭開催へ豊受自然農

由井会長、ドイツなどで学術発表

10月下旬から4か国に

我が国の医療費は年々増え続け40兆円を超えている。これからはますます高齢化が進むので財政負担は大きく、増税、増税の嵐が吹くのではと予想されている。こんな日本に誰がした。統合医療や、未病・予防対策は積極的に後押しされないばかりか、広告規制の名の下に副作用のある薬の広告は推奨され、食品が薬効を



魅力いっぱいの学術大会

癒しの決定版

インナーチャイルド

日本ホメオパシー医学協会の由井寅子会長はこれまでインナーチャイルドの癒しの活動と研究をしてきたが、それを総括したインナーチャイルドの最新刊『インナーチャイルドの理論と癒しの実践』(ホメオパシー出版)が刊行された。

薬や食品添加物、農薬、毒性不慮の野菜など、不自然なものによる癒しの活動と研究をもちろん重要であるが、それ以上に大事なことは、ストレスを抱えないこと。ストレスとは思い通りにならないときに生じる感情と同義であり、

苦しみのこと。その感情を抑制することで苦しみが潜在意識に沈み、ストレスが持続する。また、過去のそのストレスを現在の状況に投影し、急性の感情(ストレス)を生じる原因となる。心に、不安、怒り、悲しみを抱えたままではどんなによい食事をして

原因にはこのインナーチャイルドがあり、各人がインナーチャイルドを癒さなければ、幸せになることなく、よりよい社会にはなり得ないと言う。この度の新刊は、全く新しい心理学とも言えるインナーチャイルド概論から、万人が取り組めるインナーチャイルド癒しのメソッドまで、全て網羅したインナーチャイルド癒しの決定版とも言える。

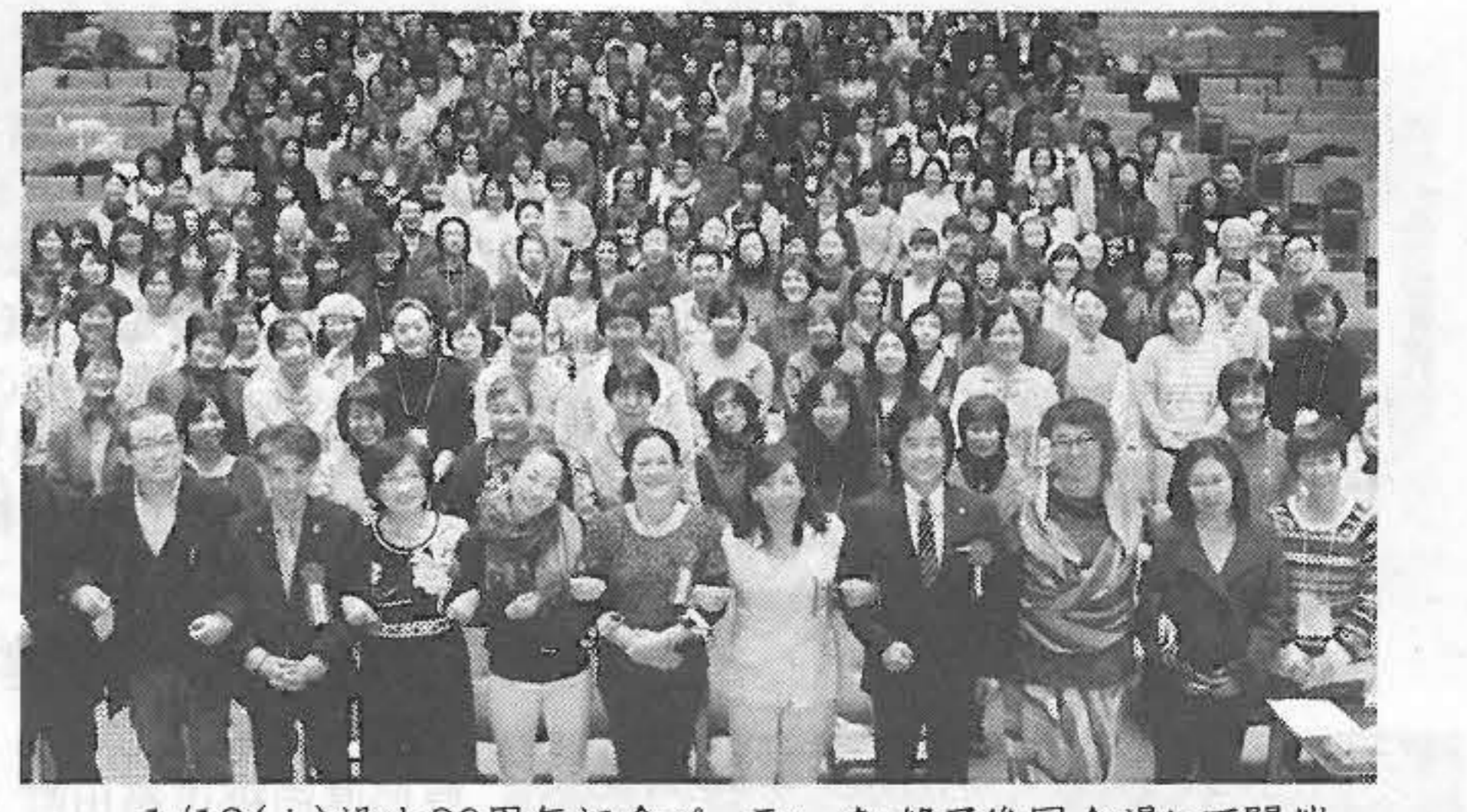
現代人の必読書 悩んでいる、苦しんでいる全ての人の必読書と言って過言ではない。是非一読をお勧めする。また由井会長のインナーチャイルド癒しのDVD講演録シリーズ(現在7巻まで、間もなく8巻が出る)も入門としてお勧めである。

定価1500円(税別) AMAZONなどの発売は10月21日。 ※海外からは英語版刊行のニーズも高く、急ぎよ「インナーチャイルドの理論と癒しの実践」英語版の同時刊行が実現。この10月、ドイツ、ルーマニア、オランダ、英国での由井会長の学術発表の会場でも英語版が販売される。

JPHMA 2018 1/13 (土) 10:30~ 2018 1/14 (日) 10:00~

ドイツ発祥 自己治癒力を触発し、自らが健康になるホメオパシー 日本ホメオパシー医学協会(JPHMA)設立20周年記念大会 第18回 JPHMAコンGRESSホメオパシー学術大会 in Tokyo

美しく健康に生きる 大会長: 由井寅子 会場: 世田谷区民会館 (東急世田谷線「松陰神社前駅」下車徒歩5分) http://jphma.org/congress2017/



1/13(土)設立20周年記念パーティーを、終了後同会場にて開催